

平成31年4月6日 入学式

式辞

例年になく早くやってきた春は、もう桜の花を散らし始めています。
この春の佳き日、学校法人清水ヶ丘学園理事 佐藤光子様、谷健二様、
監事 横田正教様、清水ヶ丘高等学校後援会会長 佐々木克己様始め、
多くのご来賓の御臨席を賜り、平成31年度入学式を挙行できますこと
は職員一同にとりこの上ない喜びであります。感謝申し上げます。

保護者の皆様、お子様のご入学誠におめでとうございませう。お喜びはいかばかりかと思
います。

さて、新入生の皆様、ご入学、誠におめでとうございませう。今日から始まる高校生活に
大きな期待と若干の不安を持っているものと思ひます。新入生の皆さんの生活はこれから
大きく変わっていきませうが、
今年度は清水ヶ丘高等学校にとりまして画期的な変化の年になります。皆さんはその第一
期生です。清水ヶ丘高校はその前身である女子校三校の歴史から数えませうと100年を越
える伝統を誇る高校です。今年度、100年の女子校の歴史に初めて男女共学校としての
歴史が加わることになります。本日入学した10名の男子生徒は清水ヶ丘高校の歴史を塗
り替える革命的な存在と言えませう。とはいへ、10人の男子生徒に重い荷物を負わせるこ
とはありませう。男女の新入生一人一人が本校に求めたものを日々こつこつと追究してい
くことで十分です。

共学化のほか、今年度から授業日を週5日制にします。土曜日・日曜日が休みになりま
す。これらの変化は学校の姿を大きく変えていくと思ひませうが、それでも学校を取り巻く
変化は私たちの想像越えるものであり、この呉の地にあつて生き抜くためには更なる進
化・充実が必要なのだと思ひます。

本日入学された皆さんの頑張りが進化する清水ヶ丘高校の姿を作っていきます。2・3
年の先輩、教職員とともに新しい清水ヶ丘高校を作っていきます。伴に改革を進める
仲間として皆さんを歓迎したいと思ひます。

さて、清水ヶ丘高校にとって、本年が歴史的変化の年であるということですので、本校
の変化と時代の変化、時代からの要請を象徴する意味で、以下を英語で行いたいと思ひま
す。

In the first part of my speech, I mentioned that in 1951 Shimizugaoka Senior High School
was established after a merger of three former girls' high school which existed in Kure
before World War II. So, the three leaves of school logo symbolize these three girls' high

schools. Furthermore, these three leaves compose the three-school motto of Shimizugaoka Senior High School. These are “truth”, “beauty,” and “love.”

“Truth,” “beauty,” and “love” together are, the only ideals which human being can pursue. More than two thousand years ago, people thought that there were things which were absolutely not false. At that time, people called such thing “truth”. The same was true with “beauty”. People have an ability to sense beauty in something. People thought the idea of beauty did exist in such thing.

People thought there were different types of love, and believed there were different forms of love. They found that human beings had a form of love that was different than instinct. For example, mother’s love for a child, love for opposite sex , love for a friend, love for god or supreme being, love for nature, and so forth.

Students and teachers at Shimizugaoka Senior High School should strive to pursue the school’s motto. Students should study to find the truth. We may find beauty in students who live for people. I hope that new students will become such beautiful young men and women. I also think that making such idealistic students is a mission of this school.

Presently, Shimizugaoka Senior High School is trying to remake itself. To all new students, I say let’s make our school more revolutionary. For us, going forward is the only way to survive.

To all new students, I expect you to study diligently and to play sports well. We, living in shrinking city Kure, should make our school more enchanting.

Today is the first ceremony for male students. At this time, to all students, I would like to express my hopes and expectations that your three year at Shimizugaoka will be plentiful.

2019 6th April Hideo Ogawa Shimizugaoka Senior High School Principal

さて、先ほど触れたように、清水ヶ丘高等学校は昭和二十六年（一九五一年）呉地区にあった三つの高等女学校を統合して誕生しました。校章の三つ葉は三つの女子校を象徴しています。また同時に本校の校訓である「真美愛」を表しています。

「真美愛」はいずれも人間のみが求めることのできるものです。何か絶対的に誤りのないものがあるだろう。それを真理と呼んで意識したのが人間です。「美」も同様です。人間には何ものかを美しいと感じる感覚がある。そこには「美」という真理が存在すると人間は考えたのでした。

また、人間は本能と違った「愛」というものを発見しました。人間の「愛」には多くの形があると思っています。母親が子供に注ぐ愛、異性に感じる愛、友に対する愛、神への愛、自然への愛などなどです。

生徒、職員がこれら三つの真理を求め続けるのが本校の姿です。ひたむきに真理を求めて学ぶ姿、(他者)人への愛に生きようとする姿に青年としての美しさが現れる。清水ヶ丘高校は新入生がそのような生徒に成長することを期待し、目指しています。

新入生の皆さん、新しく生まれ変わろうとしている清水ヶ丘高校を、更に進化させていきましょう。前進あるのみです。学習に運動に学校行事に全力で取り組んでください。人口減少の呉地区にあっても、人を引きつける魅力を持つ素晴らしい高校を作って行きましょう。

新しく変わろうとしている清水ヶ丘高校の第一期生としての皆さんの入学式にあたり、期待を述べると同時に、これからの三年間が皆さんにとって素晴らしい高校生活となることを祈念しまして、式辞といたします。

平成 31 年 4 月 6 日

清水ヶ丘高等学校 校長 小川英夫